

平成30年6月19日

体育 4年 松本先生

体育「バスケットボール」

1 授業のポイント1

準備体操はシュート練習から



中等の体育館は、高校と同様の体育館ですから、バスケットコートが2面とれます。

ゴールは、6個あります。

チームごとにゴール下に集まり、準備体操の代わりにシュート練習をしました。

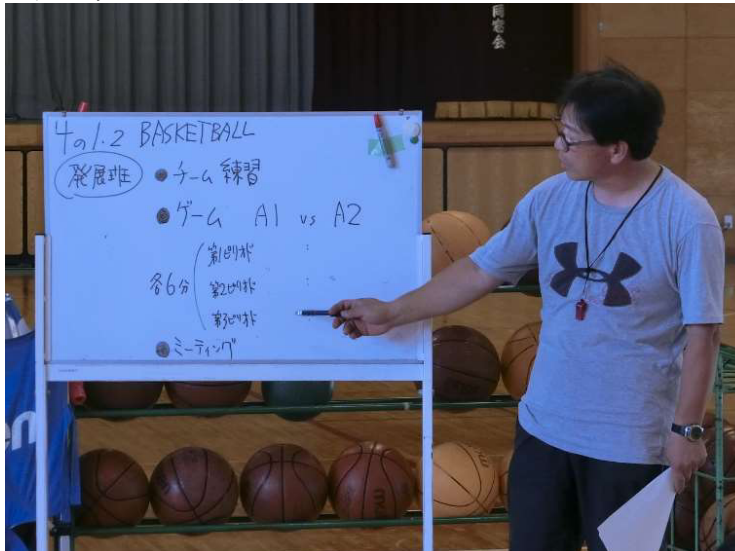
バスケットは、シュートを打つだけでも楽しいスポーツです。



2 授業のポイント2

試合は、技能別に行う

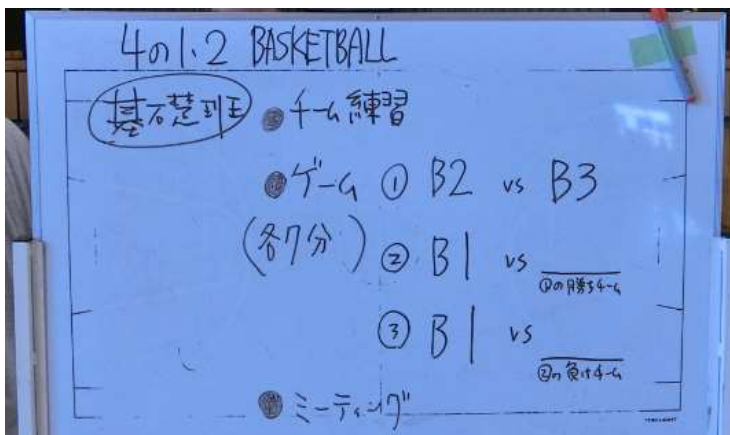
○発展班の活動の流れ



- ・チームの中には、バスケット部を中心にヘッドコーチ制を取り入れました。



○基礎班の活動の流れ



スポーツは、技能が近い仲間とすると楽しくなります。そこで、集団を大きく2つに技能別に分けました。

生徒が主体的に取り組めるように活動の流れを明示してあります。

3 授業のポイント3

十分な運動量を確保する



体育の授業で一番大切にしたいことは、生徒の運動量の確保です。一時間の流れを生徒自身が把握し、技能も近い者同士で試合をしているので、積極的にゲームに関わることができ運動時間も運動量も確保できました。

4 授業のポイント4

休憩しているグループは、プロの試合を視聴して待つ



コート面の数は、限られています。全ての生徒が運動できない状況も生まれます。

その時に対応するために、日本のプロバスケットボールの試合を映像として常時流されていました。

こうすることで、プロの速い動きや的確な動きを参考にすることができます。

イメージトレーニングになります。

5 授業のポイント5

1時間の活動を振り返る



活動を振り返ることで次の時間の校時につながります。